

論文内容要旨

しめい 氏名	すぎもと みつる 杉本 充
学位論文題名	Possible participation of IgG4 in the activation of complement in IgG4 related disease with hypocomplementemia
<p>目的：低補体血症を伴う IgG4 関連疾患患者において、どの IgG サブクラスが補体経路を活性化しているのが検証すること。</p> <p>方法：IgG4 関連疾患 (IgG4 related disease : IgG4RD) 患者の血清において、C1q への IgG サブクラスの結合能力を分析した。ポリエチレングリコール (Polyethylene glycol : PEG) によって沈殿した IgG4RD 患者血清中の免疫複合体の IgG サブクラスの構成成分をウェスタンブロットで分析した。免疫複合体を含む PEG の沈殿物を正常人血清 (Normal human serum : NHS) に加え、CH50 と 3 つの補体経路の活性化を測定した。</p> <p>結果：C1q 結合アッセイにより、低補体血症を伴う IgG4-RD 患者で C1q に結合する血清 IgG4 の高値を認めた。IgG4RD 患者血清から PEG により得られた沈殿物内の免疫複合体は、低補体血症の有無に関わらず、IgG4 から形成されていた。低補体血症を伴う IgG4RD 患者から得られた免疫複合体と混合した NHS では、CH50 の低下、古典経路活性の低下だけではなく、マンナンレクチン経路活性の低下もみられた (IgG4 の免疫複合体が NHS の補体を消費した)。</p> <p>結論：低補体血症を示す IgG4RD 患者においては、IgG4 が補体活性化に参加している可能性が考えられた。</p>	

※日本語で記載すること。1200字以内にまとめること。